

2013 年度事業報告

I 2013 年度の重点活動

社団法人コミュニティネットワークは、企業・団体・個人・自治体など様々な協力者のもとに、一人一人の生活者、一つひとつのコミュニティが相互に個性を生かしつつ支えあう、豊かなコミュニティ社会の実現を目指して活動しています。

多世代共生・地域コミュニティの創生を踏まえた新たな住まい方・暮らし方を通して、生活すること、暮らすこと、生きること、完成期までをネットワークを形成しながら、考え、共有し、継承し、新たな展開を進めてきましたが、今期は新たな地域コミュニティの拠点と在宅での生活を支える仕組みの展開も加えたコミュニティづくりを推進してきました。

1. 「100 年コミュニティ」構想に基づく、コミュニティの拠点づくりの展開

2013 年度も、コミュニティ事業の開発・構築・普及を啓蒙する目的で開催している「100 年コミュニティをつくる会」の活動を継続し関東・関西を中心に展開してきました。その取り組みは、子どもから高齢者まで、さまざまな価値観を持つ人たちが、世代や立場を超え、お互いの生活を尊重しながら、ともに支え合う仕組みのある「まち」づくり、それらを継続していく仕組みを持つ「100 年コミュニティ」としてつくり上げ、継続してきました。

2. 会員の拡大

当協会の活動をより多くの方々に広めていくことが、社団法人コミュニティネットワーク協会にとりましては、現在の時世の流れにおいてより重要な役割となっています。コミュニティの拠点づくり活動などを核として、よりいっそう個人会員の拡大、共に理念実現に向けて連携していく法人・団体会員の拡大をすることに重点をおき活動してきました。今期から特に個人会員について拡大と継続のために「会員証」の発行をいたしました。

3. 公益社団法人としての取り組み

公益社団法人となり、一人ひとりの個性あるライフスタイルを尊重し、相互に支えあい、豊かなコミュニティ社会の形成に向けた取り組みを進めてきましたが、業務内容に公益でないものがあるとの指示があり今期は一旦「一般社団法人（非営利型法人）」として申請を行うことにし、10 月末に提出。2014 年 2 月 14 日に内閣府から許可書を頂き、登記先生を行い 2014 年 2 月 20 日から「一般社団法人コミュニティネットワーク協会」として取り組むことになりました。

II 定款事業計画

1. 社会の変革に対応し、人間性豊かな、住民自治に基づくコミュニティづくりを具体的に探求するための調査・研究及び提言等を行う（定款第 4 条（1）事業）

1. 委員会活動

(1) まちづくり委員会

最後まで安心して住める住まい、のびのびと子育てが出来る空間づくりは、地域にとって課題です。多世代が共に豊かに暮らせる地域にするために、地域の生活者ニーズに合った、コミュニティの構想、環境や資源の問題への配慮・問題解決とも絡めて、自治体・NPO・企業などと連携しながらまちづくりを進めてまいりました。

(2) 完成期医療福祉委員会

一人ひとりが充実した最期をもって人生を完成させるために自らが望む生活、納得できる場を迫及し、そこに寄り添える場、コミュニティの拠点として可能な場づくりなど、完成期医療福祉の構築ができるように啓蒙活動と調査・研究を進めました。

「在宅ひとり死」を可能にするための話し合いなど「完成期医療福祉委員会」が11月より月1回開催されました。 11/21、12/20、1/14、2/19

(3) コミュニティファンド委員会

地域づくりを行う上で大きな課題となる財源を、地域事業を支援する市民が排出する「コミュニティファンド」による資金調達が可能か、まちづくりを継続するために必要な資金をコミュニティファンドという仕組みで広げていくことが可能かなど、問題解決を行うための調査・研究を行ってきました。また、「コミュニティファンド」をより多くの方に知っていただくため、9月にセミナー（あなたのお金を活かしてみませんか）を開催いたしました。

2. 調査・研究事業

<北海道厚沢部町>地域再生調査研究

基本協定の趣旨を尊重した厚沢部町地域ケアシステム構築検討協議会が設置されたことを受け、安全で安心して暮らせる『素敵な過疎のまち・厚沢部町』の実現に向け、過疎化対策として移住交流をすすめるため、地域おこし協力隊の導入を検討し、一次産業や福祉に係る人材の育成に取り組み地域活性化をめざした調査・研究を進めてきました。

<在宅を支えるシステム>の制度設計調査研究

暮らしと住まいの情報センターでは高齢者住宅への住み替え相談業務を主として対応しているが、相談者のニーズ調査の結果、本音は「自宅にぎりぎりまでいたい」「介護が必要になった時が不安だが、それまで自宅がよい」という意見が多い。

この潜在的在宅ニーズに応えるために、どのようなシステムが適切なのか永年に渡って研究した結果在宅を支える新しいシステム、元気で自立したあいだに自らが介護居室を予約しておき、介護が必要になった時や退院後など自宅生活が不安な時に利用できる仕組みの検討を行い、この仕組みを作り上げるために定期的に説明会を開催し、高齢者からの意見や提案を調査研究し、その結果、在宅での安心安全な地域システム「ゆいま〜る倶楽部」が出来上がりました。

<復興支援>の調査研究

被災地の地域コミュニティの再生を生活者の視点から、環境や資源の問題への配慮・問題

解決とも絡めて、高齢者住宅への住み替えだけでなく、在宅で暮らすためには地域に何が必要かどのような地域システムの構築が必要なのかを考え、社会的な問題解決を行うための幅広い調査・研究を進めてきました。

2. コミュニティづくりを推進するための事業を開発し、事業の運営組織のネットワークを構築し、コミュニティ事業を普及する「暮らしと住まいの情報センター」事業（定款第4条（2）事業）

高齢者の福祉と権利擁護の増進事業

1) 暮らしと住まいの情報センターの常設

情報の受発信や、相談を受けて問題解決する場として、高齢者住宅、ふるさと暮らし、地域再生を柱とした「暮らしと住まいの情報センター」を常設しています。有楽町と梅田の高齢者住宅情報センターではウェブや通信物等で情報発信するほか、常設の展示場での情報提供、専門の相談員による住みかえを主とした相談業務を行いました。

<今期のセミナーなどの活動報告>

① 高齢者住宅全般の解説や選び方セミナーを毎月定期開催。

<東京>

「有料老人ホームとサ付き住宅の違いは？」 6/14、6/26

「いまさら聞けない介護保険」 7/25、12/19

「男おひとりさまの老後の暮らし方」 8/17、9/14

「1,000万円～2,000万円台で入れる自立型高齢者住宅の暮らし」 8/23

「高齢者住宅の種類と費用」 10/22、1/15

「在宅ひとり死」準備ミニセミナー 11/19

「終のすみ家の選び方」 11/26、2/14

「おひとり様の老後準備・連続セミナー

『生活設計をたてて、安心して暮らそう！』 1/17

<大阪>

「相談事例から学ぶ高齢者住宅の選び方」 4/16、5/22

「基礎から学ぶ高齢者住宅の種類と選び方」 6/13、7/3

「これだけは知っておきたい介護保険の使い方」 7/16、9/4

「有料老人ホームの現状と基礎知識」 9/13、11/15、1/21

「高齢者住宅への住み替え準備」 10/16

「高齢者住宅の種類と選び方」 12/18

「高齢者住宅の現状と選び方」 2/27

② 会員企業の見学会も月2～3回開催。

<東京>

「ジョイステージ八王子」 5/8、8/29

「ライフ&シニアハウス井草」 5/16

「インディペンデンスヴィレッジ成城西」 5/18、5/19

「プレール・ロヴェ豊洲」 5/21

「ジョイステージ八王子」 5/23

「大島ケアハートガーデン」 5/29
「ココファンあすみが丘」 6/18
「ユミーケア平塚自立系3ホーム」 6/18
「東急ウェリナ旗の台」 6/19
「エスペランサ川崎」 7/15
「レストヴィラ豊玉」 7/17
「ライフ&シニアハウス川越南 七彩の街」 7/23
「サンクリエ本郷」 9/10
「大島ケアハートガーデン」 9/17
「リュエル・シャンテール」 9/18
「ゆいま〜る中沢」 9/19
「ネオ・サミット湯河原」 10/18
「シニアメゾン・リハ中里」 10/24
「グランクレール成城・馬事公苑」 11/01
「グレイプスふじみ野」 12/6
「ウェリスオリーブ新小岩」 12/13
「悠楽里えどがわグリーンパーク」 12/20
「グランクレール馬事公苑」 1/23
「ライフ&シニアハウス井草」 1/28
「ニチイハウス大宮公園」 2/15
「東京ウェリナ旗の台」 2/19

<大阪>

「エレガリオ神戸」 4/2
「ザ・レジデンス芦屋スイート」 4/4
「ひふみ苑」 4/18、2/20
「グランフォレスト神戸六甲」 4/25
「ザ・レジデンス神戸舞子」 5/21
「みのり堺・ひまわり」 5/30
「シニアハウス長居公園」 6/18
「グランドビュー甲南」 6/26
「レストヴィラ南堀江」 7/26
「エリガリオ神戸・ザ・レジデンス神戸舞子」 8/7、8/10
「ユトリーム大阪北」 8/10
「ユニエス南千里丘」 8/22
「ザ・レジデンス芦屋スイートケア」 8/28
「ディナスティマチュレ吹田千里丘」 9/19
「グランドマスト五月山」 9/24
「シニアハウス新町」 10/21
「アーバニティ若水」 10/24
「アクティブライフ箕面」 11/25
「ローズガーデン倉敷」 12/4
「ローズライフ高の原」 12/16

「フォレスト垂水貳番館」 1/9
「ベルパージュ大阪上本町」 1/25
「ライフ&シニアハウス千里中央」 1/28
「みのり阪南」 2/25

- ③ 住まい方についてニーズをお聞きする会を定期的を開催し、情報提供や意見交換を行うほか、利用者同士の交流の場としても活用をしました。

<東京>

「高島平団地で暮らし続けるしくみをつくる会」
5/23、6/19、7/18、9/19、10/24、11/14、2/19

<大阪>

「おしゃべりカフェ」 4/23、8/27、10/28、12/25

- ④ 高齢者住宅の住み替えだけでなく、それに伴う後見人制度や身元引受人、相続の問題なども講師を招いて勉強会を継続的に開きました。

<東京>

「オランダに学ぶ 脱・病院死」 4/20
「『プライマリ・ケア』って何…？ 自分にあう主治医の見つけ方」 6/19
「第1回ミニ読書会」 6/21
「任意後見人制度の役割と使いかた」 7/23
「最期まで自宅で幸せに生きる・準備セミナー第一回介護予防」 9/2
「最期まで自宅で幸せに生きる・準備セミナー第二回介護・ターミナル」 9/20
「あなたのお金を活かしてみませんか」 9/25
「あなたの備えは大丈夫？ 相続税改正と生命保険の活用術」 9/25
「100歳まで安心して暮らす生活設計」 10/29
「任意後見契約の有効的な利用方法」 11/20
「おひとり様は誰が看取るの？」 12/11

<大阪>

「任意後見人制度」 4/19
「家族に頼らない老後の過ごし方」 6/25
「ひとりで死ぬ準備、ちゃんとできていますか」 9/3
「相続の生前対策セミナー」 10/3
「任意後見人の費用と役割」 2/18

- ⑤ 関東、関西共に年1回「高齢者住宅入居フォーラム」を開催。

<東京>

「第6回高齢者住宅入居フォーラム
『今、求められる高齢者の住まいと選び方』」 9/3
第1回ミニフォーラム「都心での手厚い介護 サービスの中身は？」 12/19
第2回ミニフォーラム「埼玉県で暮らしたい!!」 1/15

<大阪>

「高齢者住宅入居フォーラム in 神戸」 7/24
「第12回高齢者住宅入居フォーラム」 11/20

- ⑥ 会員事業者には情報交換やテーマを持った話し合い、新規開設ホームの見学などを隔月で開催し、親交を暖めました。

<東京>

「営業連絡会議」4/18、8/8、10/10、12/12、2/13

「ゆいま～る中沢見学&営業連絡会議」6/20

<大阪>

「情報交換会」8/21、12/19、

「チャームスイート宝塚売布」4/17

「ケアブリッジ阿倍野」見学6/14

「須磨きらく苑見学」10/17

「ルルポ泉が丘」2/13

- ⑦ 有識者を招いて年に数回、テーマに沿って大規模なセミナー企画を開催。

<東京>

「在宅ひとり死」準備セミナー8/2、10/4

- ⑧ 神戸市すまい安心支援センターからの業務受託として出前セミナーを継続。

<出前セミナー>

「相談事例から見る高齢者住宅の選び方」4/15

「長田区社協」8/8

「神戸北町あんすこセンター」8/23

「兵庫県いなみの学園神戸学友会」9/4

「灘区あんしんすこやかセンター」9/5

「東灘区婦人会」9/25

「唐櫃地域福祉センター」10/10

「矢元台自治会」10/22

「西神ニュータウン研究会」10/23

「兵庫県年金受給者協会」12/18

<タイアップセミナー>

「ひとりで死ぬ準備ちゃんとできていますか」9/3

「早すぎない生前整理」1/28

「相続・後見の安心サポートパック」2/26

「高齢者住宅への住み替え準備」3/20

- ⑨ 大阪市住まい情報センターとのタイアップ事業の企画提案。

「あなたはどこで死にたいですか?①」9/18

「人に迷惑をかけない生前整理と住み替え」10/11

- ⑩ 高齢者団体、文化センター、企業や自治体からの要請による外部セミナーを受けると共に営業活動も積極的に始める。

<大阪>

「NHK 神戸文化センター」4/10、1/22

「セントアージュ奈良」4/12、5/23、10/15

「ザ・レジデンス神戸舞子」4/22

「高齢者住宅経営者連絡協議会」5/14

「高槻市立消費生活センター」5/15

「JASS」5/16

「サンミット生駒ザ・ゲート」5/18、9/15

「総合ハウジング」 5/29、9/27、10/2
「朝日新聞ハッピーエンディングセミナー」 6/16
「ディナスティマチュレ吹田千里丘」 7/20、8/19、11/8
「ユニエス南千里丘」 7/28
「近畿日本鉄道カルチャー教室」 7/29
「大阪府建築士会女性部会研究会」 8/7
「朝日新聞厚生文化事業団セミナー」 9/8、9/22
「遺族支え愛ネットセミナー」 9/22
「都市に暮らす高齢者のためのセミナー」 9/25、10/10
「NHK 徳島文化センター」 10/25
「エテルノ」 11/7
「朝日新聞シニアセミナー」 11/9
「川西市消費生活センター」 11/19
「兵庫県消費生活センター相談員レベルアップ研修」 11/22
「NHK 京都文化センター」 1/18
「柏原市社協セミナー」 1/29
「兵庫県経費・ケアハウス部会施設長研修会」 2/7
「倉敷消費生活」 2/10
「枚方在宅緩和ケア研究会」 2/15
「高齢者住宅財団サ付き住宅実務講習会」 3/10

- ⑩ 高齢者住宅情報センターの活動が新聞や雑誌、情報誌などで取り上げられるよう
マスコミと連携を取り、広報活動を行いました。

<テレビ放映>

130407 テレビ朝日 なんでも図解テレビ ゆいま〜る那須
130604 NHK 「クローズアップ現代」 ゆいま〜る多摩平の森
130607 日本テレビ 「ミヤネ屋」 ゆいま〜る那須
130710 フジテレビ スーパーニュース「特報 高齢者住宅」 情報センター・中沢
130924 TBS はなまるマーケット
130924 日テレ 解決！ナイナイアンサー
131104 日本テレビ 「ニュースエブリィ」 ゆいま〜る多摩平の森
131122 NHK 「かんさい熱視線」 ゆいま〜る那須

<新聞・雑誌記事>

130403 高齢者住宅新聞 ゆいま〜る中沢
130322 ハウジング トリビューン 「ゆいま〜る合葬墓」
130410 シルバー新聞 ゆいま〜る聖ヶ丘、中沢
130405 山陰中央新報 六日市学園入学式
130405 中国新聞 六日市学園入学式
130427・0504 合併号週刊ダイヤモンド 特集：親子で選ぶ「老後の住まい」
130424 函館新聞 ゆいま〜る厚沢部
130425 介護新聞 ゆいま〜る厚沢部
130427 日経新聞 ゆいま〜る厚沢部
1305月 ゴールデンライフ Vol. 32 シリーズ生活「高齢者住宅」

- ⑫ ゆいま～る合葬墓については関西においては契約者を募集し、関東圏における＜合葬墓＞の話し合いと候補地の現地見学を行いました。
- ＜東京＞
「ゆいま～る合葬墓説明会&意見募集会」6/12、7/18、8/21、9/20
「合葬墓見学会」9/4、10/18、
- ＜大阪＞
「合葬墓説明会」4/16、6/13、9/4、9/13、10/16、11/15、12/18、1/21、2/27
「ゆいま～る合葬墓合同供養祭」11/1
- ⑬ ＜在宅を支える仕組み＞の説明会を定期的に開催しました。
- ＜東京＞
「ゆいま～る倶楽部説明会&中沢見学会」
5/14、6/13、6/25、7/11、10/9、10/24、11/13、11/28、12/12、12/17、1/8、
1/28、2/12
- ⑭ リニューアルしたHPの更新を行いました。

3. 高齢者等がグループで共住する場、コミュニティの交流の場、コミュニティ事業の拠点等、新しい生活スタイルを実現するコミュニティの場づくりを支援する（定款第4条（3）事業）

1) 地域コミュニティづくり及び団地再生を支援

「100年コミュニティ」の理念を具現化し、地域とのコミュニティの交流の場として拠点となっているハウスをはじめとして、ワーカーズ・コレクティブの活動など地域に必要な、生活に密着した仕事を創出することで、地域の活性化やコミュニティの場づくりを支援いたしました。

団地再生は、建物だけではなくそこに暮らす人、若者から高齢者まで含めた団地全体の活性化であり100年コミュニティの拠点となり、新しい生活スタイルを実現する場づくりを今期も支援しました。団地再生のコミュニティの拠点は、関東だけでなく困っている全国の団地でシステムが活用できるように今後に繋げていきます。

2) 東京・多摩地区支援

中沢プロジェクト

多摩地区での「100年コミュニティ」の新たな複合高齢者関連施設「医療・介護連携と中間機能施設」のモデル事業としてのプロジェクトの取り組みを支援し、住み慣れた地域、自宅に暮らし続けたいと考えている高齢者の方たちに、介護が必要になった時にあわてない安心システムの構築を推進してきました。

3) 北海道支援

厚沢部プロジェクト

地域の状況やニーズに沿い、同一建物内にグループホーム、デイサービス、地域開放型の食堂やスペース（ギャラリー）を設置し、老後の安心や在宅を支援していく拠点づくりとし

て、また、多世代コミュニティを育む場所としての機能を支援してきました。

4) 海外支援

中国プロジェクト

急激に経済の成長が進んでいる中国は同時に高齢社会も進んでいます。経済の成長が第一で進んできたために環境や福祉にひずみが出てきています。中国の展開は、モデル事業の場所を決定して中国企業と中国人の価値観を理解しながら高齢者のニーズを把握し老後の安心の拠点づくりを支援し、プロジェクトとして具体的に動き出しました。

4. コミュニティ事業の指導者、組織者、協力者等の人材を研修、育成するとともに、そのネットワークを構築して協力関係づくりを推進する（定款第4条（4）事業）

1) 地域プロデューサーの自主的な活動をサポートします。

コミュニティづくりには、人・もの・金・空間をトータルでプロデュースできる人材が欠かせません。当協会の理念、事業がさらに広がるために、多摩ニュータウン、岩手県、福島県にて、そのノウハウを活用できる地域プロデューサーの取組みを応援し、各地区にて活動を始めてまいりました。

また、第1回地域プロデューサー養成講座を踏まえ、来期に第2回を開催するために動きだしました。

2) 他団体との連携を深めます

元気がでる地域づくりを支援するためには、地域住民と自治体、企業、NPOなどが連携・ネットワークを構築することが欠かせません。他団体との連携を積極的に進め、本事業の活用を進めました。

3) 人材育成モデルづくり

人材育成プロジェクトについては、過疎化の進む町へ都市部からの移住を促進すると同時に、介護福祉施設で不足する人材、特にリーダー層と成りうる人材を育成する事を目的としています。そのために介護福祉士を目指す人材確保を支援しています。更に、町まちづくりについては、行政・医療機関等と一体となった取組みに、学生自らが参加し、地域に根差し、実践しながら学ぶ人材育成のモデルづくりを目指してきました。今期は島根県吉賀町、福島県、北海道厚沢部町などへの支援を行ってきました。

5. コミュニティ事業及びコミュニティづくりを促進するための企画の実施及び啓発・広報・出版を行う（定款第4条（5）事業）

広報・編集委員会

1) 会報誌「ゆいま〜る」を年1回発行しました。

「元気のでのる地域づくりをサポートする」ため、当協会の理念、活動の啓蒙・啓発する媒体として、「ゆいま〜る 46号」を発行をしました。

2) 通信を発行しました。

①事業プロジェクトの理念や活動を広げるためにカラーA 4版 16頁の「100年コミュニティ通信」を毎月発行しました。社団の理念を共有する業界の有識者の方々にご協力をいただき、座談会の開催や、訪問取材など読み応えのある内容で情報発信を続けて参りました。この通信については有料化を検討しています。

高齢者住宅情報センターの情報誌「銀座通信」「茶屋町通信」も通信の中に集約し、賛助会員企業の活動やニーズに合った情報を提供してきました。

3) ホームページを充実させました。

①前期リニューアルしたCN協会のHPを定期的に更新しました。

②高齢者住宅情報センターのHPの見直しを行いました。

③リンク先の充実はあまり進みませんでした。

6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業（定款第4条（6）事業）

1) 見守り制度、市民後見人制度

市民後見制度は、将来の老いの不安に備えた「老後の安心設計」であり、「100年コミュニティ」構想には欠かせない問題となっていきます。そのための安心システムの構築を進めてまいりました。

2) 共同墓地運営管理

昨年神戸市北区に開眼した<ゆいま〜る合葬墓>の募集をすすめ、関東圏では話合いの機会を設けながら新規の<ゆいま〜る合葬墓>の企画推進してきました。

III. 協会運営

1. 総会

*総会：2013年6月29日（土）、臨時総会：2013年10月27日（日）

2. 理事会

*第1回、第2回：2013年6月29日（土）

3. 常務理事会

*第1回：2014年1月27日（月）

4. 会員加入促進活動

1) 会員加入状況 2014年2月19日現在

法人：正会員	4	賛助会員	50
団体：正会員	1	賛助会員	3
個人：正会員	39	賛助会員	208
合計 正会員	44	賛助会員	261
			= 305

2) 情報提供の拡充

・各種セミナー・フォーラムなどの情報を通信やメルマガを使って提供しました。

通信クラブとして「100年コミュニティ」通信の情報を提供している方は146名となりました。

<メルマガ配信>

- 130407 テレビ朝日「なんでも図解テレビ」でゆいま〜る那須の放映紹介
- 130531 日本テレビ「終の棲家」の特集でゆいま〜る那須の放映紹介
- 130604 NHK「クローズアップ現代」でゆいま〜る多摩平の森の放映紹介
- 130620 「中国における高齢化社会の現状と介護サービス産業への参入戦略」セミナー紹介
- 130611 「女性自身」故神代会長の「妻へ綴っていた「愛と感謝の遺書」掲載のお知らせ
- 130616 「ハッピーエンディングセミナー」の紹介
- 130621 「中国における高齢化社会の現状と課題」高橋社長中国生活奮闘記セミナー紹介
- 130710 フジテレビ「スーパーニュース」で高齢者住宅情報センターの放映紹介
- 130924 日本テレビ「ナイナイアンサー」に大阪センター長出演の放映紹介
- 131024 日本テレビ「あのニュースで得する人損する人」でゆいま〜る那須の放映紹介
- 131108 東京家政学院からのシンポジウムのお知らせ

以上